



2022年11月9日

各 位

会社名 ニ プ ロ 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 佐野 嘉彦  
 (コード番号：8086 東証プライム)  
 問合せ先 常務取締役経営企画本部長 余語 岳仁  
 (TEL 06-6372-2331)

## 第2四半期業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年8月9日に公表いたしました2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績等の動向を踏まえ、2022年8月9日に公表した2023年3月期通期の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正は行いません。

### 記

#### 1. 2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)業績予想値と実績値の差異 (単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	262,500	11,500	11,400	6,700	41円08銭
第2四半期累計期間実績(B)	260,339	6,371	11,604	6,252	38円34銭
増減額(B-A)	▲2,160	▲5,128	204	▲447	—
増減率(%)	▲0.8	▲44.6	1.8	▲6.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	242,120	12,863	12,433	7,303	44円78銭

#### 2. 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)業績予想数値の修正

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	540,000	27,500	26,600	15,600	95円65銭
今回修正予想(B)	551,800	17,700	26,600	15,600	95円65銭
増減額(B-A)	11,800	▲9,800	0	0	—
増減率(%)	2.2	▲35.6	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	494,789	23,882	27,583	13,455	82円50銭

### 3. 差異の理由

2023年3月期第2四半期累計期間の売上高につきましては、円安による押し上げ効果で海外売上高および海外子会社の売上高は増加いたしました。また、医薬事業における一部工場での生産遅延および一部製品の受注減により予想を大きく下回りました。またウクライナ情勢の影響による欧州地域での原材料調達や出荷の遅延による売上高の減少、中国におけるワクチン用途バイアルの需要が一旦落ち着いたことに伴う受注減、ゼロコロナ政策による都市ロックダウンの影響による売上高未達も影響しております。

営業利益につきましては、医薬品工場における生産遅延に伴う生産高減少による操業度の低下と、輸入原薬をはじめとする原材料価格の高騰や燃料価格の高騰による製造原価の上昇により予想を大きく下回る結果となりました。また主要製品であるダイアライザも原材料高騰と円安の影響により原価高の影響を受けております。総じて各事業において原材料・エネルギー価格の高騰と輸入資材の高騰の影響を受けておりますが、医薬事業における原価高騰の影響が最大の要因であります。

経常利益につきましては為替変動により65億43百万円の為替差益を計上したことで、営業利益の業績予想の未達分を補って業績予想を若干上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等の増加により業績予想を下回る結果となりました。法人税等の増加は各社別の課税所得に予想との差異が大きく生じたことによりです。

### 4. 通期業績予想値の修正の理由

通期の業績予想値につきましては、第2四半期までの結果に加え、最近の経済情勢、特に為替相場の状況が当初予想当時の見通しと乖離しておりますので、想定為替レートを円安方向に修正することで通期の連結業績予想値の修正を行うことといたしました。当初想定レートが1ドル115円、1ユーロ130円に対し、修正後の想定レートは1ドル135円、1ユーロ139円といたします。こちらの根拠に関しましては、現在の水準で12月末まで推移したと仮定した場合の1月～12月の期中平均相場となります。その他の通貨におきましても同様の論理によって全体的に円安方向への修正を行っております。それに伴い売上高に関しましては、円安による海外売上高の押し上げ効果もあって上方修正となります。

一方で営業利益につきましては、生産コスト上昇の抑制に努め、また、売価への転嫁等の交渉なども進めて利益の確保に尽力してまいります。さらには12月から販売開始予定のオーソライズドジェネリックによる収益の最大化を目指しますが、第2四半期までの下振れ分を補うほどの利益の回復は見通すことができないため、下方修正とさせていただきます。ただし現時点での為替の状況が期末までも継続するとの想定によって為替差益の計上もある程度見込んだ上で、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を据え置きとさせていただきます。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては第2四半期連結累計期間においても当初予想との差異が僅少であること、通期業績予想につきましても当初業績予想値を据え置くことから、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正は行わない方針です。

上記の予想は、本資料の発表日現在における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上